

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社は、「ユニットハウスを通じて、建物の再利用化をすすめ、資源循環型社会の形成に貢献すること」を社会における当社の存在理由としています。ユニットハウスは、必要ときに必要な空間を必要なだけ利用し、その場所で不要となったら別の場所に移設し、再利用を行うという、今までの建築概念にない発想を可能としています。「これからの社会システムに必要とされるものを自ら作り出し、そのオリジナル製品によって社会に貢献する」という創業当時から受け継がれてきたフロンティアスピリッツを原点に、今後もさらなる成長・拡大を目指してまいります。

代表取締役社長 **長妻 貴嗣**



当中間期のハイライト

当中間期は、主力のSPACE SERVICE事業（仮設ユニットハウスのレンタル・販売）において、堅調な建設投資を背景に大手ゼネコンを中心としたレンタル受注に注力し、さらなるシェアの拡大に努めてまいりました。一方、SPACE NAVI事業（ユニットハウスの展示販売）においては、不採算店舗の閉鎖や営業力の強化に取り組んでまいりました。また、U-SPACE事業（トランクルーム）においては、快適かつ安心してご利用いただけるトランクルームを展開しております。

その他、現場の意識改革として、コスト意識を高めた利益追求型の業務体制を確立すべく様々な施策に取り組んでおります。

これらの結果、当中間期の売上高は8,277百万円、経常利益は401百万円となりました。当中間期における実績は前年同期比で減収減益となり、通期の業績見込みにつ

いても期初の見込から修正いたしました。これらの業績を真摯に受け止め、これからの経営にさらに邁進していく所存でございます。また、中間配当金につきましては、期初の予定通り1株当たり6円25銭を実施いたしました。なお、年間配当金におきましても、期初の予定通り1株当たり12円50銭を実施する予定です。

中期的な事業展開としては、現状の主力事業であるSPACE SERVICE事業を安定的に成長させながら、SPACE NAVI事業およびU-SPACE事業の規模拡大を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き、変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年12月